

道德教育の推進を、どう図っていくのか

～ 学校、教師の自主的な取り組みや地域への広がりから考える ～

これまで、当財団事業に参加された教師の皆様から、道德教育が抱える課題についてのご意見をいただいております。そのなかに、「研修内容が個人レベルになりがちで、学年や学校全体に拡大しにくい。」「道德教育に力を入れている先生方とのネットワークを作ることができないでしょうか。」「校内研修で指導助言に著名な方をお迎えしたいが、校内の体制や予算の問題がネックになっています。少しでも若い先生方のために何かできるシステムを提案してほしい。」などの声が寄せられました。

こうした先生方の思いより、「道德教育の推進」こそが道德教育の課題であると考えました。

道德教育は、学校全体で協力して、学校生活のあらゆる場面で推進していくことが求められています。そして現在は、新しく道德教育推進教師が学校で中心となることが打ち出され、推進を図っていく体制が整えられつつあります。

今回のシンポジウムでは、道德教育推進において成果を上げている学校や教師の事例を紹介いたします。校長や推進教師の立場で、また地域社会との連携や地域の小中学校で研究ネットワークを作る活動など幅広い内容を取り上げます。そして、2名の講師より推進のポイントを挙げていただき、全体で意見交換をいたします。ぜひ、道德教育推進のヒントを掴んでいただきたくご参加をお待ちしております。

- とき** 8月20日(金) 10:00～16:45
(懇親会 17:30～19:00)
- 申込み** 申込み票を郵送、Fax、E-mailで送付ください。
入場整理券を送ります。(先着230名)
- ところ** 国立オリンピック記念青少年総合センター
国際交流棟 国際会議室
(東京都渋谷区代々木神園町3-1)
- 参加費** 2,000円 資料代として
(懇親会は別途3,000円)
事前に振込用紙をお送りします。
- 発表者** (敬称略)

		提案の視点	スケジュール
発表1	大木 洋美 (静岡県伊豆市立修善寺中学校教諭)	『道德教育推進教師として』	10:00 開会
発表2	坂本 哲彦 (山口県平生町立平生小学校教頭)	『コミュニティスクール推進のなかで』	10:20 発表 1～3
発表3	中山 和彦 (栃木県小山市立乙女小学校校長)	『校長として役割』	12:00 昼食・休憩
発表4	林 敦司 (鳥取県鳥取市立美保小学校教諭)	『地域教師の研究ネットワーク』	13:10 発表 4
講師(助言・まとめ)	横山 利弘 (関西学院大学教授・日本道德教育学会会長)		13:45 講師助言
	新宮 弘識 (淑徳大学名誉教授、日本道德基礎教育学会会長)		14:45 休憩
コーディネーター	上園 恒太郎 (長崎大学教授)		15:00 質疑応答 全体討議
			16:45 終了

連絡先 財団法人 ^{うえひろ}上廣倫理財団 道德教育シンポジウム係 担当 上田博次
〒102-0075 東京都千代田区三番町6-3 TEL. 03-3261-8711 FAX. 03-3261-8747 E-mail ueda@rinri.or.jp

財団法人上廣倫理財団『道德教育シンポジウム』参加申込み票		平成 22 年	月	日
フリガナ		フリガナ		
ご芳名		学校名 (勤務先)		
連絡先	〒 (学校 ・ 自宅) で囲む		懇親会 (で囲む)	出席 ・ 欠席
	TEL.	FAX.	E Mail	